



◀ そのほかの取材記事はこちらから ▶

向坂 奈穂美 赤こんリポーター

おもちゃの「うち」を決めよう！
お片付けワークショップ

G-net しが（男女共同参画センター）で開催された「親子で自己肯定感を高める お片付けワークショップ」に、2歳から13歳まで幅広い年齢の子どもたちが参加しました。

「お片付けは習わないとできない」という視点から、子どもたちがゲーム形式で、整理整頓のコツを楽しみながら学びました。おもちゃの「うち」を決めたり、不要な物を手放したりと、親子の対話を促す工夫が満載！

子どもが片付けられるようになり、親が「すごいね！」という声かけをすることで、子どもの自己肯定感も育まれるそうです。参加者は熱心に話を聞き、ワークを通して自分なりの片付け方を実践。会場は終始和やかな雰囲気包まれ、親子で向き合う貴重な時間となっていました。

松村 美沙枝 赤こんリポーター



メダカの学校の学舎整備を応援

篠原町自治会がメダカの学校小田分校に寄付金を贈呈されました。これは、地域のにぎわいを目的に6年ぶりに同自治会で開催されたフリーマーケットの収益です。このフリーマーケットの開催にあたり、市内で閉店された靴屋さんから「子どもたちの関わることに役立ててほしい」と靴を譲って頂いたそう。靴屋さんの厚意が地域の人を笑顔にし、最終的に自然体験の活動を行っているメダカの学校小田分校さんの手によって、子どもたちのために活用される。想いが形になる地域のつながりって、とても素敵ですね。

西野 康代 赤こんリポーター



関西万博で近江八幡の「かか太鼓」が躍動！！

7月24日は関西万博の滋賀県デーでした。EXPO ホール「シャインハット」ではひこにゃんのパフォーマンスや琵琶湖の学習船「うみのこ」のドラの音で舞台が開幕。2番目に登場したのが「かか太鼓」です。まず、小さな頃から和太鼓に真剣に取り組んでいるメンバーのソロ打ち。たくさんのお客さんの前で堂々と叩き上げました。そして8人の仲間たちが登場。動きのある曲目を息を合わせて演奏しました。一人一人の笑顔が弾け、和太鼓の音が会場に響き渡りました。応援をした「むむれ太鼓」のメンバーもバットバチを頭の上から振り下ろし、力強かったです。演奏後は会場からは大きな拍手！近江八幡市を代表しての出演、素晴らしかったです！

山田 恵美 赤こんリポーター

ママと赤ちゃんの“en日”に
ママパスマルシェ in 近江八幡

8月5日、イオン近江八幡2番街1階センターコートとはちぴひろば周辺にてママパスポート近江八幡・竜王による子育て世代と地域をつなぐコミュニケーションイベント「ママパスマルシェ in 近江八幡」が開催されました。

マルシェブース、ワークショップは笑顔の親子でにぎわい、同時開催のハイハイ＆よちよちレースでは赤ちゃんたちの可愛い動きに癒やされる時間でした。子育て中の大変さも、今しかない楽しみになるといいな、と思います。



市内のイベント情報ははこちらから ▶

8月1日

人々の願いを成就
伊崎のさお飛び

比叡山延暦寺で百日回峰行を満行した修行僧12人が、長さ15mの棹の先から約7m下の湖面に飛び込む「伊崎のさお飛び」が伊崎寺で行われました。

さお飛びは、約1100年前の平安時代から続き、人々の願いを叶えるために自らを犠牲にする「捨身の行」として湖に飛び込み、身を清めたことが始まりと言われています。

初めてさお飛びに挑んだ岩田真祐さん（長野県の領法寺）は、「世界には災害などで苦しみ悲しむ人がいます。世界平和を祈りながら飛びたい」と気持ちを表していました。

7月1日

(株) ABC Cooking Studio との連携協定
オーガニックビレッジ宣言

食を活用した持続可能な地域づくりや地域全体の活性化を図るため、株式会社 ABC Cooking Studio と 7月1日連携協定を締結しました。5月17日にはオーガニックビレッジ宣言を行い、「農」と「食」からはじまる「オーガニックなまちづくり」を進めています。連携協定により有機農産物をはじめ、地域食材の魅力向上などを進めていきます。

夏休みには、同社から派遣された地域活性化企業人を中心に「kids1day レッスン」を開催。お菓子作りに参加した児童は、「案外簡単やった」と楽しそうに話していました。また、野菜や朝ご飯の摂取に関するクイズも行われ、「食」の大切さにも触れました。

7月21日



安土でまち歩きマルシェ『YOASOBI』

安土駅周辺や安土小学校で『人をつなぐ まちをつなぐ 店をつなぐ』をテーマに、夜のまち歩きを楽しむイベントが開催されました。駅前に設置されたライブステージでパフォーマンスを堪能する人、駅前通りに出店した52店舗のマルシェやビアガーデンで、遊んだり、食べたり飲んだりで盛り上がる人々にぎわっていました。また、安土小学校では水鉄砲バトル、お化け屋敷のほか、ワークショップも企画され、子どもたちは大はしゃぎし、子どもから大人まで夏の夜を楽しんでいました。

8月3日



将来はお医者さん?! 病院探検

小学生約20人が病院探検隊として、手術室や検査室、リハビリ室など、普段なかなか見られない場所の見学やオペ体験をする「夏休み Kids 病院探検ツアー」が行われました。体験を通して、医療を身近に感じてもらいたいと総合医療センターで毎年開催しています。

検査室では、カテーテルを血管内に挿入し、造影剤を注入して血管の状態を調べる検査を見学しました。豚の心臓を使ったオペ体験では、手術着を着て、医師の説明を受けながら、手術器具を手で切ったり縫合したりしました。参加した児童は「ダビンチを操作するのが難しかった」と感想を述べました。